

本業の副産物を利用しSDGsに対応したビジネス創出へ

会社名 交告製材株式会社
 所在地 岐阜県各務原市須衛町7丁目93番地の1
 従業員 4名
 資本金 1,000万円
 売上高 1億円
 業種 木材・木製品製造業



支援を受けるにあたって掲げた事業上の目標

Before

- ヒノキ油の顧客は、これまでの木材の顧客とは異なるので、どのようなビジネスにするかについて戦略の検討が必要
- 知的財産については、これまで全く関係なく事業展開をされてきたが、新規事業については特許、商標等を取得して自社の優位性を確保する取組が必要

支援を受けてできるようになったこと

After

- 事業を多角的に捉え、BtoCの販路及び販売戦略を構築し、BtoCに使用する商標権出願を済ませ、ホームページ、SNSを利用したネット活用によるPRを具体化。
- ヒノキ油の商品上の問題点の解消(脱色)の目処が立ち、商品価値が向上した。

今後の事業展開の展望

Future

- 新規事業としてヒノキ油のBtoCでのネット販売を開始し、SNSを利用したプロモートも展開。新規顧客の獲得に至るなど少しずつ伸びつつある。
- 今後大量に販売可能なBtoBが立ち上がれば、国内海外問わず売り上げが大きく向上することが予測される。

重点支援を受けた事業や商材

東濃桧から抽出した純国産100%のヒノキの天然オイルを製造販売している。原木の乾燥過程で生じる蒸気中にはヒノキの精油成分が含まれていることは知られていたが、これまで全て外気に放出していた。その油成分を抽出してアロマオイルとして商品化したもの。癒し効果の高い「αピネン」が豊富に含まれ、オイルの商品名「ハピネン」にも同成分を用いている。柱材の乾燥過程で派生するもので、オイルの製造に多大なエネルギーを必要とせず、SDG'sにもマッチしており、同社の新たな収益源として可能性に注目してきた。



【出典】「ハピネン」商品紹介ホームページより
<https://hinoki-oil.com/>



重点支援を実施するにあたって整理した課題

取り組んだ課題	課題に取り組んだ背景・理由
販売戦略、販路構築	■ 新商品であるヒノキ油について、どのような販売戦略を取るのかなど、これまでの木材とは異なる販売チャンネルでの販売になるので、将来を見据えて販路を構築する必要がある。
知的財産戦略及び権利取得	■ どのような特許権の取得ができるかという観点からの検討と、将来地域の同業者にも普及させたいと考えておられるので、そのための商標などの権利取得が必要。
ヒノキ油の商品化、ブランディング	■ 当面の顧客は、ヒノキ油を素材として用いる業者ではないかと考えられるが、どのような形で販売するかや、ネーミングによって同社の油は良好であることを訴求するブランディングが必要。
ヒノキ油を用いた商品開発	■ 収益性を上げるためにヒノキ油を素材として販売するだけでなく、付加価値の高い商品開発を行うことが必要。
営業秘密	■ これから商品開発を行うにあたって、開発中の商品などの営業秘密が漏洩することを防止する必要がある。



重点支援を通じて受けた支援と支援を通じてできるようになったこと

支援を受けた事項	支援を通じてできるようになったこと	活用専門家
販売戦略、販路構築	<ul style="list-style-type: none"> 販売戦略に基づく活動により、SNSやWEBを用いて独自の販路が構築され、WEBサイトの運営も習得。 経営デザインシートも使えるようになった。 	中小企業診断士 ブランド専門家
知的財産戦略及び権利取得	<ul style="list-style-type: none"> 知的財産戦略として、技術の特許出願は断念したが、商標を出願して、ヒノキ油のブランド「ハピネン」を立ち上げた。 	企業OB
ヒノキ油の商品化、ブランディング	<ul style="list-style-type: none"> 「ハピネン」ブランドを現すパッケージデザインやボトルラベル等も製作して東濃ヒノキのヒノキ油を自社商品化した。 	ブランド専門家 (WEB活用アドバイザー)
ヒノキ油を用いた商品開発	<ul style="list-style-type: none"> ヒノキ油を用いた商品開発を行った結果、抽出したヒノキ油が着色している問題が、低コストで色を除去できるようになり、アロマオイルとして市場に出すことができた。 	企業OB ブランド専門家
営業秘密	<ul style="list-style-type: none"> 顧客情報や製品情報の営業秘密管理を学習し、秘密情報管理の考え方が経営者に定着した。 	知財戦略AD

支援チーム紹介

リーダー専門家: 中小企業診断士 松本 久敏
 活用専門家: 弁理士、ブランド専門家、知財戦略AD、企業OB
 知財総合支援窓口担当者: 岐阜県知財総合支援窓口 坂井 保
 PO(プログラムオフィサー): 石黒 一夫